



リフレットは、おかげ様で今年、創業12年目を迎えさせていただきました。今まで数々の大切な御客様や協力者をして社員スタッフさん達に助けていただきながらの12年間でした。本当にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。最近では、年が経つにつれ、このことを特に強く思うようになってきております。

日々の生活や仕事の中では、誰もが一筋縄にはいかない事や、数々の決断や決定、人間関係、仕事の業績等さまざまな悩みや問題を抱えて生きているのだと思います。思い返して見ると、幸いにして自分の場合、それらの問題や悩み事がどんどん薄れてきているような気がします。本来、やる事や取り扱う事は、明らかに増えているのですから、問題や悩みも増えそうなものですが...



遠層プロゴルファーの古市忠天さんの話ですが、55歳で阪神淡路大震災に遭い、家もなにもかも失い、残ったゴルフクラブセットを見て、ゴルフでご飯を食べていくと決意され、その後沢山の方々の支えや応援をもらい、プロテストに合格し、実際にシニアツアーで7勝をあげながら、ボランティア活動にも精を出されています。氏は震災前は、闘争心で勝てると思っていたが、それだけでは勝てない事に気づく。闘争心だけでは、闘争と表裏一体の恐怖心も克服できなかった。しかし、挑戦できる事への「ありがとうございます」という感謝の心があれば、怖くない。楽しめる。だから勝つ事が出来る、といいます。

もともと、ゴルフの非常に上手な方だったと聞きますが、10代、20代の若者に混じってのプロテスト通過や、その程度の経歴でシニアツアー7勝されるという事は、正直、奇跡的な話だと思います。



「奇跡 = 才能 × 努力 × 感謝力」感謝力とは、かまはれる事への感謝する心である。感謝する心は、人の心を大きくし、美しく、若く、そして強くする。と教えてくれています。



この12年の間に、特に一人一人の御客様には本当に良くしていただき、気持ちの良い方ばかりで、仕事を超えたところでも助けていただいた事がたくさん思い出されます。自分にも社員スタッフさん達にも、余りある数々の叱咤激励を戴き、そういった皆様に社員スタッフ一同、常に感謝の気持ちを忘れずに行動させていただく事により、沢山の方々から守っていただいているように思います。

正直、ここまでやってこられた事も奇跡に近いものが有ります。なにせ全くのゼロからの出発だった訳ですから...「お客様に育てていただいた」という感謝の気持ち、感謝力をさらに磨き続けて、サービスに反映させていく努力をおこなわないことでは恩返しもしていけないと心から思っております。ありがとうございます。



平成二十一年八月吉日 多田良雄